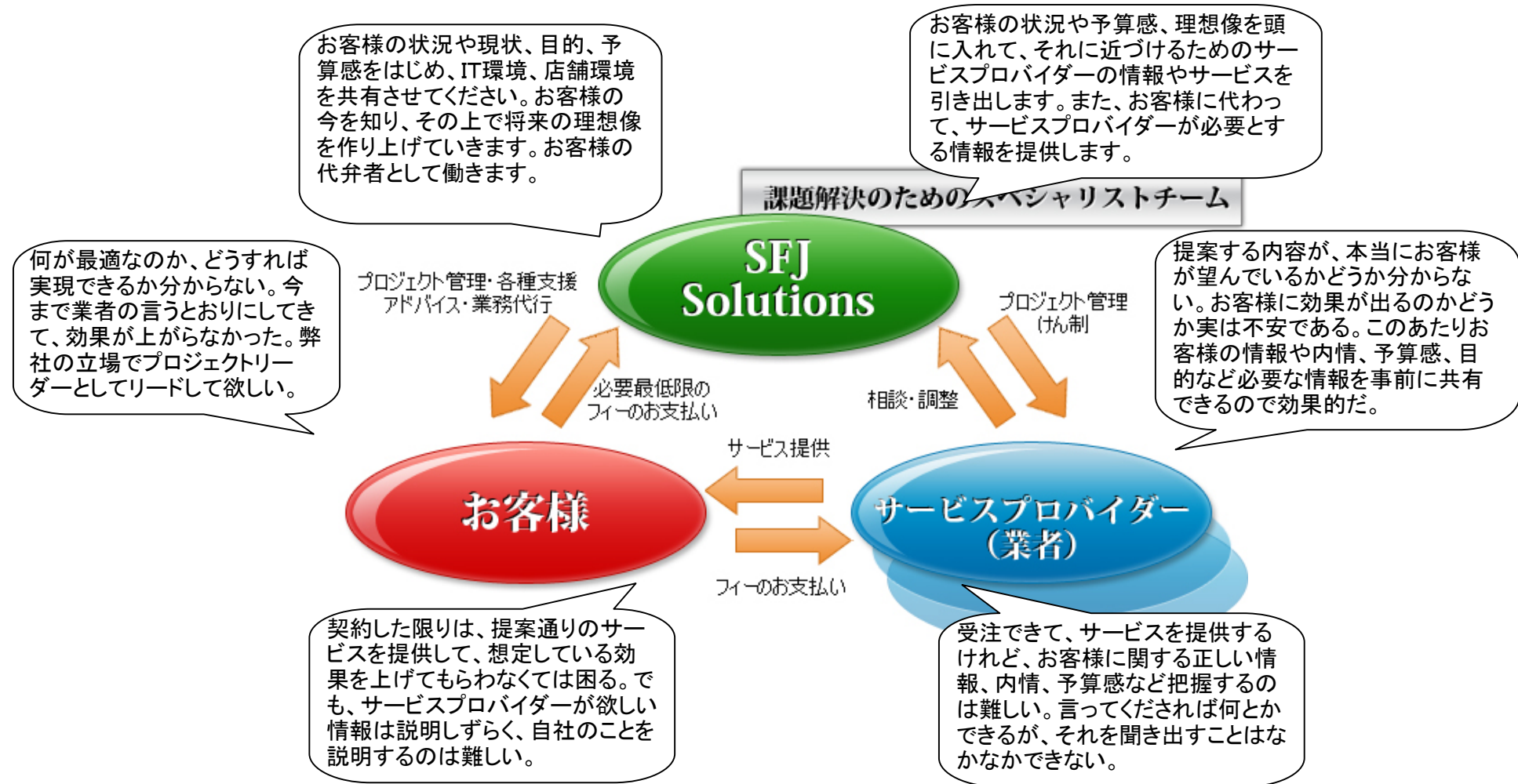


アパレル業A社

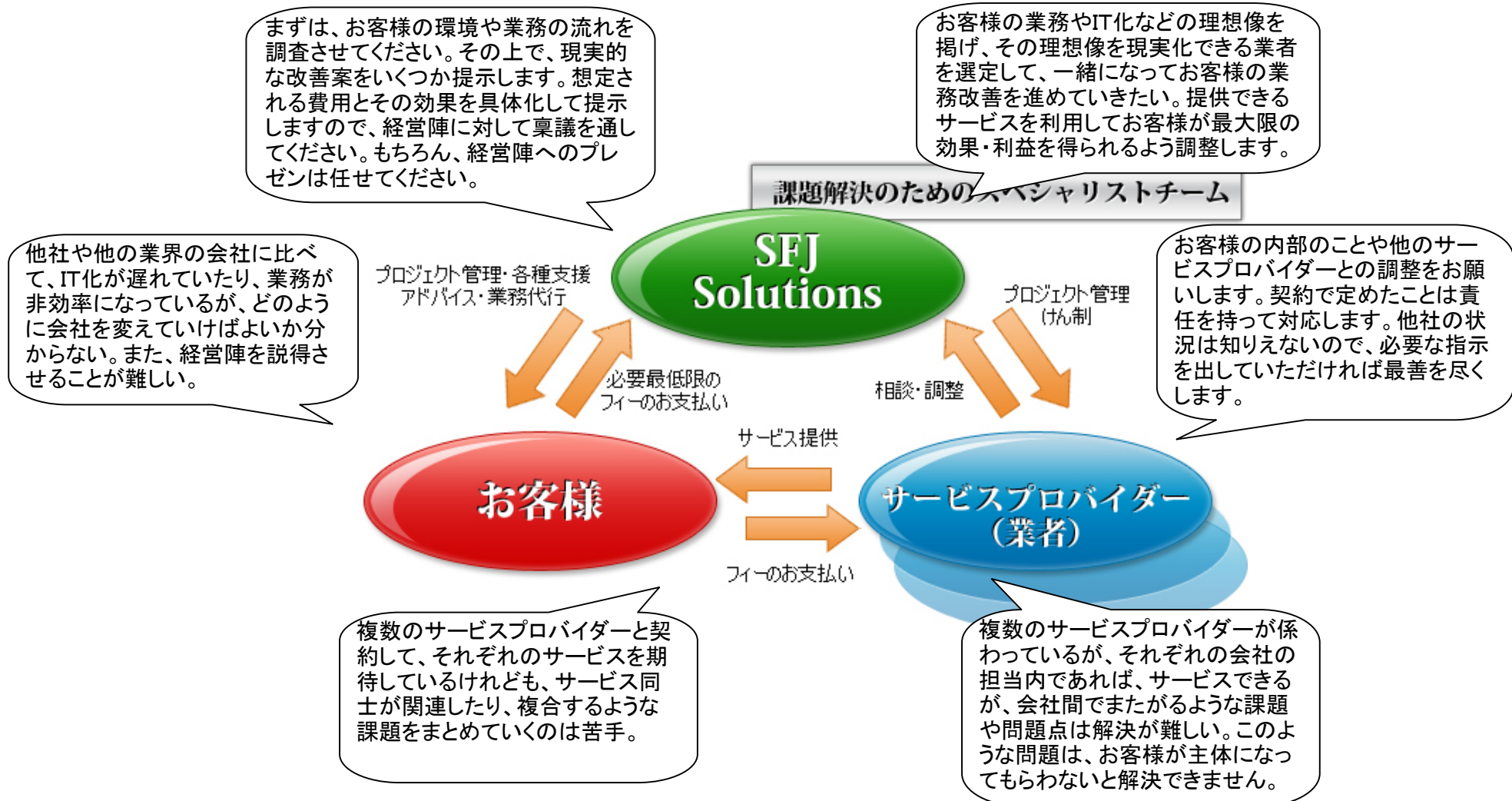
背景: 店舗数60を超える日本全国に店舗網を持つアパレル業。急激に会社が成長し、社内の統制、IT化、業務効率など、今までの俗人的な手法からの脱却を目指す。IT分野を中心にプロジェクト管理を担当。方針の立案、業者・サービスの選定、プロジェクト管理、導入、運用、フィードバックを実践。



出版業B社

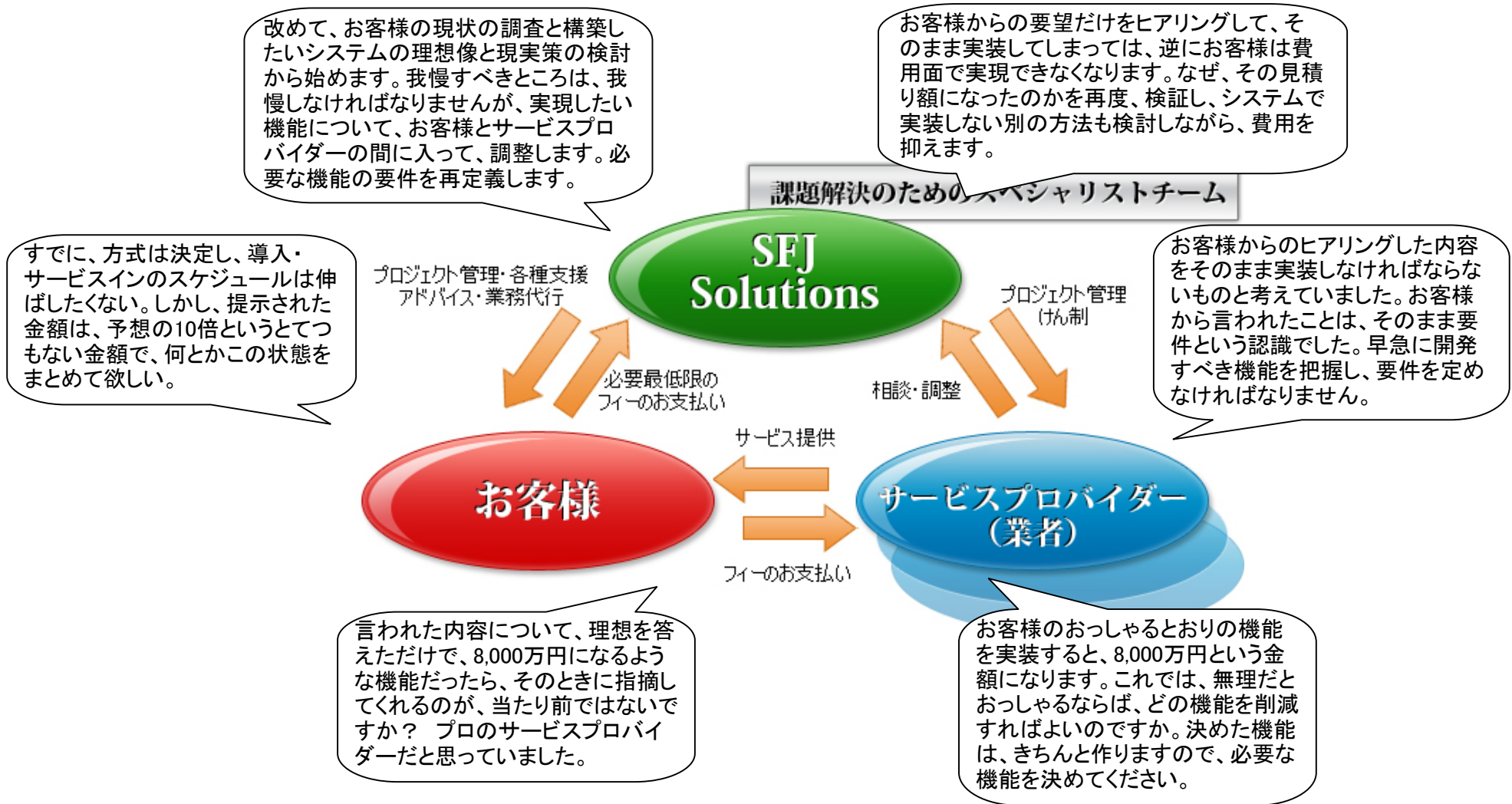
背景:

中堅の出版社。昔からの出版社の文化・やり方そのまま業務を続けてきた。社内ネットワーク、サーバー管理、WEB運営、セキュリティ対策、内部統制とあらゆる面での改革が必要と判断。社内のメンバーだけでは、経営陣に対して必要性や客観性を説明しきれず、経営陣の理解を求めるところからサポート。



特定業界コンサルティング業C社

背景: 社員の日報と予算管理のシステム化を検討開始。業者に依頼し、ASPサービスのカスタマイズ方式に決定。ヒアリングを業者主体で進めていくが、要望を聞きそのまま実装する見積りが出てくると、8,000万円という現実離れの金額を提示。実際の予算感の10倍という状態をまとめるべく、見積り提示の状態からプロジェクトに参画し管理を始める。



セミナー業D社

背景: セミナー関連の企画と運用を本業とされており、IT・システム・ネットワークに関する知識を有する社員はいない。事務所の引越しをきっかけに、社内のネットワークをはじめ、電話やファイルサーバーなどを構築したいとお申し出があった。複数の業者を相手に、最適化する自信がなく、IT・ネットワーク化プロジェクトの管理を代行することになった。

